

ときめき通信

282号

9月1回

[発行者]生活協同組合パルシステム新潟ときめき
[編集責任者]佐々木功
配付日:2023年8月21日~8月25日

お問い合わせ先 ▶ 配達・ご利用・お支払い・組合員活動に関して パルシステム問合せセンター 0120-868-014 (月~金曜日/9:00~20:00 土曜日/9:00~17:00)

参加募集

パルシステム新潟ときめき 交流・発信ステーション

ふらっとに来てね



もっといい明日へ
超えモノ

毎月第1火曜日

オリジナル商品試食会開催

パルシステムが独自開発したオリジナル商品は多くの組合員の声とつくる人の想いによって生まれてきました。

pal のマークが目印です。

オリジナル商品の良さをもっと知ってほしい!そんな思いから毎月1回『パルシステム新潟ときめき 交流・発信ステーション ふらっと』で商品試食会を開催しています。

申し込みは必要ありません。一人でも、ご家族と一緒にでも、開催時間内であればいつでも来場OKです。参加をお待ちしています!



会場

パルシステム新潟ときめき 交流・発信ステーションふらっと

所在地 阿賀野市窪川原553-2 道の駅あがの

参加費
無料

申込
不要

開催時間内
いつでも
来場OK

開催時間

10:00~14:00 (試食品が無くなった場合、時間内に終了する場合がございます)

開催日

9月5日(火)

惣菜 | 産直じゃがいものサラダ
サラダベース産直ごぼう



開催日

10月3日(火)

お菓子 | ポテトチップス(しお)、ポテトチップス(のり)、
ポテトチップス(コンソメ)



パルシステム新潟ときめき
交流・発信ステーション

ふらっとでは

パルシステムの情報を発信しています。

調味料や加工品、お菓子、飲み物、生活用品などを情報とともに展示しています。展示している商品は購入もできます。
*購入には組合員番号の提示が必要です。

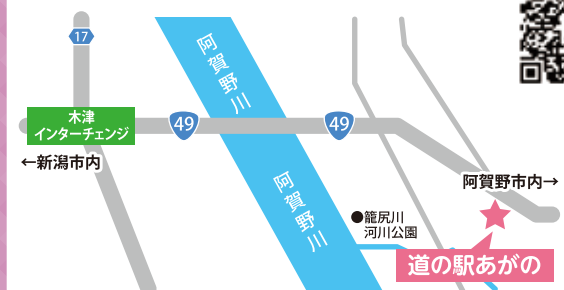
パルシステム商品の受け取りが可能です。

営業時間内であれば好きな時間に受け取れます。

ふらっと営業時間 月曜日/9:00~19:00 火曜日~日曜日/9:00~18:00

*受け取りのご希望や相談は上記パルシステム問合せセンターへ

道の駅あがの:阿賀野市窪川原553-2



理事会たより

2023年7月25日(火)第87回理事会を開催しました。当日理事は12名中11名、監事は2名全員出席でした。第88回理事会は8月29日(火)10時からを予定しています。

第1号議案 6月度決算概況及び7月度借入予定額について

議長を除く出席理事全員の賛成で承認

第2号議案 パルシステム給付型奨学金制度の外部法人の設立に伴う
評議員及び役員を選出と拠出財産の一部負担について

議長を除く出席理事全員の賛成で承認

*他に報告事項がありました。

組合員 16,878人(6月末現在)

昨年対比 109%

供給高

523,441千円(6月末累計)

昨年対比 106%

出資金額 194,685,925円(6月末現在、出資預り金含む) 昨年対比 119%

開催報告

ときめき学校 2023 ～田んぼ～

もっといい明日へ
お米で
超えてく

ときめき産直米の生産地、新潟有機米生産組合の田んぼで5月28日(日)に田植え、7月9日(日)に生育・生きもの観察と学習を行いました。この企画は申込みが定員を超え抽選となりました。



5/28(日)田植え



5/28(日)の田植えには19組53人が参加しました。

最初にときめき産直米の栽培基準についての説明をしました。次に、一人当たりの1日のお米消費量が、60年前の半分以下になっている事、食べる量が減ると作る量も減ってしまうのもっとお米を食べて生産者を応援しよう!という『もっといい明日へお米で超えてく』アクションについて紹介しました。

その後、生産者から新潟有機米生産組合とお米作りについて話していただき田んぼに移動しました。生産者による田植えの実演の後、参加者は思い思いに田んぼに入って手植えを始めました。最初はおそるおそる手植えをしていましたが、途中からは田んぼの中を走り回り泥だらけになる参加者もいました。手植えをしきれなかった部分は田植え機で行い田植えは完了しました。



参加者の感想

☺ 泥が滑らかで気持ち良かったです。苗の根にもみ殻がついており、お米の一粒から大きく成長したんだと実感しました。ご飯としていただくときは残さず食べようと思いました。田植え後は風に揺れる苗がとても綺麗でこれからの成長が楽しみです。

☺ 一般の特別栽培米よりも、厳しい基準で作られていることが印象に残りました。普段食べているときめき産直米は、特別よりも特別なのだなと気づきました。

☺ 生産者の方に直接お会いでき、優しい人柄と大切にお米を作ってくださいと教えていただきました。消費量が減っているとお話しましたが、これからはときめき産直米を食べられるよう、たくさんご飯を食べたいなと思います。

☺ いつも服は汚さないで、と声をかけているのですが、今日は汚しても大丈夫だよ!と言われた子ども達が泥の中に入れて本当に楽しそうでした!

7/9(日)の生育・生きもの観察と学習は、16組47人が参加しました。

生きもの観察と学習の講師は昨年同様、日本自然環境専門学校の佐久間博士とスタッフ・学生さんに協力していただきました。

はじめに稲の生育状況について生産者から順調ですという報告と稲刈りまでの作業工程を話していただきました。

次に田んぼに移動し、生きものの採取を開始しました。

最初はあぜから網を入れていましたが、そのうちに田んぼに入る参加者が1人2人と増えていきました。タニシやアメンボをつかまえたり、大きなミミズを掘り起こしたりしました。採取した生きものは学生さんが、水槽やバットに移し学習会の会場に運んで種類ごとに分類する作業を行いました。参加者はその間に『お米と米麴でつくったあまざけ産直米使用(AB)』と『ぼんこめバー』の試食で小休止です。

その後、学生さんたちによるクイズ形式の解説で参加者は楽しみながら生きものについて学びました。



参加者の感想

☺ 想像以上にたくさん生き物がいて、良い環境が保たれているのがよくわかりました。

☺ 田んぼに子どもと入りました。足元に稲の根を感じる事で根が張っているのを体感しました。

☺ 学生さん達が一生懸命に説明してくださる姿に感謝しました。子どももあんな風になって欲しいなと思いました!

☺ 普段虫には寄りつかない子どもたちが、頑張って虫をつかまえようとしていたことと、虫は大嫌いなのに意外と虫の知識があって驚きました。

ときめき学校は2023～田んぼ～は3回シリーズです。10月には稲刈り・試食交流会を開催する予定です。